



TKK 共通シラバス

1. 科目名	ボランティア活動論				
2. 教員名	梶原 洋	3. 担当大学	東北福祉大学		
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>近年、ボランティア活動にたいする関心が高まっており、その分野は福祉、教育、まちづくり、文化・芸術、スポーツ、環境、災害、国際協力など多岐に渡っている。</p> <p>これからの福祉社会を考えると、一人ひとりが地域における課題を察知・認識し、課題解決に向け主体的に行動・活動することが求められる。</p> <p>本講義では、それぞれのフィールドで活躍する実践者等からボランティア・市民活動の現状と課題、今後の可能性、東日本大震災からみえたボランティアの力などについて多面的に学んでいく。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
主題ごとの専門家によるオムニバス形式の授業を展開する。なお、詳細については第1回目に発表する。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
レジュメを準備する。					
11. 授業時間外に必要な学修（神）、事前・事後に受講してほしい講義等（東）					
<p>【事前受講してほしい講義等】</p> <p>福祉ボランティア活動Ⅰ</p> <p>【事前受講してほしい講義等】</p> <p>ボランティア論、福祉ボランティア活動Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、NPO論、災害福祉論</p>					
12. 提出課題など（神）					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
評価はレポート試験(70%)・授業態度(30%)とする。					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
<p>ボランティアや市民活動の動向について関心を持ち、考察することで、社会貢献活動やボランティア活動に参加してほしい。また、「福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ」を履修し、理論と実践の融合を図ってほしい。また、3分の2以上の出席がない場合は、試験を受けることができないとともに（欠格条件）、20分以上の遅刻は欠席とみなします。</p>					
15. 参考（オフィスアワー（工）等）					

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	オリエンテーション ・大学における学生ボランティア支援	本学におけるボランティア支援の課題
第2回	コーチングを考える	コーチング技術について述べる
第3回	ボランティアマナーについて	ボランティアだけでなく就職活動にも使えるマナー及び態度について述べる
第4回	高齢者支援ボランティア	高齢者支援の実情と課題について述べる
第5回	障害者支援ボランティア① ～精神障害者～	精神障害とボランティアについて述べる
第6回	障害者支援ボランティア② ～知的障害者～	知的障害者を取りまくボランティアの状況について述べる
第7回	地域の安全安心を考える～防犯ボランティア～	宮城県における犯罪と防犯ボランティアについて述べる
第8回	障害者支援ボランティア③ ～身体障害者～	身体障害者支援ボランティアについて述べる
第9回	命の大切さとボランティア	「いのちの電話」における課題について述べる
第10回	子どもの人権を考える	子ども支援ボランティアについて述べる
第11回	国際協力とボランティア	国際協力とボランティアの課題について述べる
第12回	児童福祉を考える～児童養護施設や里親の活動をとおして～	児童福祉の現状課題について述べる
第13回	NPO活動の事例	現状のNPOの課題・問題について述べる
第14回	私が変わる、社会は変わる～21世紀の市民社会とボランティア活動	ボランティア活動とは何かを述べる
第15回	災害ボランティアに学生はどう関わるべきか	学生の災害ボランティア参加の現状と課題について述べる

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

(下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。)

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	4
成果を挙げるためのコアコンピテンシー	3
受容的コンピテンシー	3
応用的コンピテンシー	4
対人・集团的コンピテンシー	3

コメント